

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		ともしびの家-MOROE-				公表日	令和7年 2月 25日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		子どもが過ごしやすいうように、活動スペースの配置を工夫し、限られた空間でも快適に利用できるようにしている。家具や設備の配置を見直し、子どもが移動しやすい環境づくりに努めている。				
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		職員の配置については、規定に基づき適切な人数で運営をしている。				
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		視覚的な案内やサインを活用し、わかりやすい環境整備を進めている。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		定期的な清掃と消毒を徹底し、常に清潔な空間を保つ努力をしている。子どもが落ち着いて過ごせるよう、明るく温かみのある空間づくりを意識している。				
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		子どもの特性に応じて、集中できる個別の空間を確保し、落ち着いて活動できる環境を提供できるよう努めている。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○		業務の向上を図れるよう、効果的なPDCAサイクルを取り入れていきたいと考えています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者さま向けの評価表を実施し、フィードバックをもとに支援の質を向上できるよう努めている。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		朝礼・終礼時には職員全体でミーティングを行い、改善点については意見を出し合いながら業務に反映している。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在は行っていませんが、必要に応じて取り組みます。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修義務のある研修の機会を確保している。必要に応じて、職員の資格取得を支援するなどスキルアップに努めている。				
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○						
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		子ども一人ひとりの特性を理解し、適切な支援計画を作成している。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○						
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○						
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		効果的な電子ツールなどの導入が進んでいないため、必要に応じて取り入れます。			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		毎月頭に次月の活動案を職員で立案し、分担しながら活動の充実を図っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		固定化を防ぐため、季節のイベントや新しいアクティビティを取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別・集団活動が偏らないよう工夫している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		朝礼・終礼時には議事録担当を設け、記録を徹底している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。		○		4つの基本活動の組み合わせについては、常時意識できているわけではないので、今後の支援に活かせるよう努めます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		集団活動の参加等も無理強いはせず、子どもの意思を尊重します。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		相談支援事業所以外の機関とは、常時密に連携をとっているわけではないため、今後は必要に応じて体制を整えます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		必要性・保護者の希望に応じて行います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			必要性・保護者の希望に応じて行います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		相談支援事業所以外の機関とは、常時密に連携をとっているわけではないため、今後は必要に応じて体制を整えます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		感染症の流行以降、交流を控えておりましたが、今後同法人内のフリースクール生徒との交流会を検討したいと考えています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		必要に応じて参加します。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		ご家族さま向けの研修や講演等は積極的に開催できていません。既存の研修等の情報を提供するなど、できることを行います。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に、十分な時間をとって省略せず説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリング時に、ご意見やご要望をお聞きし、内容を反映している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		感染症の状況により、しばらく実施できていません。今後は、参加しやすいオンラインでの情報交換の機会を設けるなど、多様な交流方法を検討します。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		月に1度、活動の予定を発信しています。活動の様子を写真でまとめるなどし、子供の利用児の様子がわかるような工夫もしていきます。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域交流は積極的にできていないため、今後は意識して支援を行います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		該当児の保護者さまの協力もいただき、てんかん発作時の様子なども動画で共有していただくなどしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		現在対象児童はいませんが、必要に応じて取り組みます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットに該当する事案が発生した際には、即日で記録を取り、解決の話し合いをしている。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		伝達研修を欠かさずしている。		

54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○		現在対象児童はいませんが、必要に応じて取り組みます。
----	----------------------------------------------------------------------------------	--	---	--	----------------------------